

小牧市
子ども・子育てに関する
アンケート調査
【結果報告書（抜粋）】

令和6年4月
小牧市

I. 調査概要

調査の目的

本調査は、「小牧市子ども・子育て支援事業計画」の次期計画を策定するにあたり、保育や子育て支援サービスなどのニーズ量の把握とともに、子育て世帯の就労実態や要望などを把握し、計画策定の基礎資料としていくことを目的として実施しました。

調査対象及び調査方法

- 調査地域：小牧市全域
- 調査対象者：市内在住の未就学児童の保護者（未就学児童調査） 1,500人
市内在住の小学生児童の保護者（就学児童調査） 1,500人
市内在住の20歳～39歳の方（一般成人調査） 1,500人
- 調査期間：令和6年2月22日（木）～令和6年3月14日（木）
- 調査方法：郵送配布、WEB回答による調査【未就学児童・一般成人】
小学校を通じての調査票配布、WEB回答による調査【就学児童】

	調査対象者数 (配布数) (件)	有効回収数 (件)	有効回収率 (%)
未就学児童	1,500	769	51.3
就学児童	1,500	593	39.5
一般成人	1,500	378	25.2
合計	4,500	1,740	38.7

報告書の見方

- ・ 図表中の「n」はアンケートの集計対象者数を示しています。
- ・ 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・ 複数回答の場合、回答の選択肢ごとの割合を示しているため、合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・ 選択肢の見出しが長い文は簡略化してある場合があります。
- ・ 本報告書内においては、調査の名称はそれぞれ「未就学児童調査」「就学児童調査」「一般成人調査」とし、回答者を表すときは「未就学児童」「就学児童」「一般成人」と表記しています。

Ⅱ. 調査結果の概要

1. 未就学児童・就学児童調査結果の概要

(1) 子育ての状況について

子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が未就学児童の保護者、就学児童の保護者ともに最も高くなっています。

子育てに関して日常悩んでいることや気になることは、就学児童の保護者では「子どもの教育に関すること」「子どもとの時間を十分にとれないこと」「子どもを叱りすぎているような気がする」と高くなっており、子どもの教育や子どもとの接し方についての回答が多くなっています。未就学児の保護者では、「病気や発育・発達に関すること」「食事をなかなか食べてくれないこと」「子どもの教育に関すること」が高くなっており、主に発育に関する回答が多くなっています。

(2) 保護者の就労状況について

未就学児の母親では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が30.9%と最も高くなっています。また産休・育休・介護休業中の割合は20.8%となっていますが、産休・育休・介護休業中でない割合は46.1%となっており、休業せず子育てをしている母親が多くなっています。

就学児童の保護者では、産休・育休・介護休業中の割合は2.6%となっていますが、産休・育休・介護休業中でない割合は78.9%となっており、就労しながら子育てをしている母親が多くなっています。

パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望は、未就学児童の母親で34.2%となっており、そのうち実現できる見込みがある人は8.8%となっています。パート・アルバイト等の就労を続けることを希望している割合は62.3%となっています。

現在就労していない母親の就労希望は、未就学児の母親では「1年後より先に働きたい」が46.4%で最も高くなっており、将来的な就労を希望する回答が多くなっています。就学児童の母親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が36.9%と「1年後より先に働きたい」の22.3%より高くなっており、早期の就労を希望する意見が多くなっています。希望する就労形態は、未就学児・就学児童の母親ともパートタイム・アルバイト等が8割以上となっています。

(3) 幼稚園や保育園等の施設・サービスの利用状況について

幼稚園や保育園等を現在定期的に利用している人のうち、利用している施設やサービスは「保育園」が46.1%と最も高くなっており、次いで「幼稚園」が39.9%となっています。1週当たりの利用日数は「5日」が89.3%と最も高く、また利用日数や利用時間は希望通りであるとの回答が92.4%となっており、希望通りに利用できている人がほとんどとなっています。

お子さんが病気やケガで保育サービスが利用できなかったことがあると答えた割合は未就学児童で68.8%と、約7割があると回答しています。そのときに行った対処方法は、「母親が休んだ」が80.6%で最も高くなっており、次いで「父親が休んだ」が31.7%となっています。「病児・病後児の保育を利用した」は2.3%、「ベビーシッターを利用した」「ファミリー・サポート・センターを利用した」は0.0%となっており、これらのサービスはほとんど利用されていません。

(4) 地域の子育て支援拠点事業等の利用状況について

地域の子育て支援拠点事業等の利用状況については、「地域子育て支援拠点事業」を利用している割合が50.1%、「利用していない」が49.2%と約半数が利用している状況となっています。今後の利用意向は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が51.9%で最も高くなっており、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が24.4%となっているため、今後の利用日数はあまり増加しないと見込まれます。

子育て支援事業の認知度や利用状況、今後の利用意向については、主に「保健センターの教室・相談サービス」「児童館」「子育て世代包括支援センター」「子育て家庭優待事業（はぐみんカード）」が高くなっています。

(5) 土曜・日曜日・祝日の幼稚園や保育園等の利用意向について

土曜・日曜日・祝日の定期的な幼稚園や保育園等の利用希望については、「利用する必要はない」が7割から8割となっていますが、「月に1～2回は利用したい」「ほぼ毎週利用したい」の合計が約2割となっており、一定のニーズがある状況となっています。また、利用を希望する時間帯は「8時」から「18時」が多くなっています。利用したい理由については「月に数回仕事が入るため」が65.8%と最も高くなっており、次いで「リフレッシュのため」が36.7%となっています。

(6) 子どもの放課後や休日の過ごし方について

5歳以上の未就学児の、小学校のうちの放課後の時間の過ごしせ方の希望は、低学年時、高学年時ともに「自宅」「習い事」が高くなっており、低学年では「放課後児童クラブ」が高学年より高くなっています。

就学児童の子どもの放課後・休日の時間の過ごしせ方の希望は、「友達と自由に過ごす」「自宅で自由に過ごす」「自宅で学習や読書」が高くなっています。

就学児童の子どもと一緒に過ごす休日の時間は十分かについては、「十分だと思う」「どちらかといえば十分だと思う」の合計が9割となっており、ほとんどの方が十分と感じています。子どもが塾や習い事で多忙だと思うかについては、「思う」が21.6%、「思わない」が69.5%となっています。多忙だと思う理由については、「自分の子どもの頃に比べると多忙に感じる」が71.1%で最も高くなっており、次いで「睡眠が不足しているように感じる」が25.0%となっています。

(7) 公立保育園と私立保育園について

保育園等の施設の特徴やちがいを知っているかについては、未就学児・就学児童の保護者ともに「知らない」が半数以上となっています。また、保育園等の公立と私立の施設のちがいを感ずるかは「わからない」が、私立の施設では延長保育等が充実していることを知っているかは「知らない」がそれぞれ半数以上となっていることから、公立保育園と私立保育園のちがいを知っている保護者は少ないことがわかります。

(8) 育児休業や保育園の無償化について

育児休業の取得割合は、母親が45.6%、父親が19.6%となっており大きく差が出ています。また、取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった」が高くなっているのに対し、父親では「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」が高くなっています。

市独自の施策である保育料の無償化については、「知っている」が81.1%と未就学児の保護者8割に認知されています。無償化の情報をどこで知ったかについては、「市ホームページ」が39.3%と最も高く、次いで「友人・知人から」が35.1%となっています。保育料の無償化が少子化対策に効果的であると思うかは、「とても効果的である」が36.2%、「効果的である」が30.4%と肯定的な回答が大半を占めています。

(9) 子育て支援の施策について

子育て支援に関して、市の施策として期待することは、未就学児・就学児童の保護者ともに「家庭への経済的な支援」「子育てしやすいまちの環境面の充実」「様々な遊びや体験の場の整備」が高くなっています。また特に期待することとしては、家庭への経済的な支援では「高等学校の入学もしくは進学に必要な費用の支援（制服代、学費など）」が、子育てしやすいまちの環境面の充実では「保育施設・サービスの充実」が高くなっています。

2. 一般成人調査結果の概要

(1) 結婚観について

「結婚をするかしないかは、個人の自由である」ということについては、「とても思う」が85.2%、「やや思う」が13.5%を占めており、肯定的な意見がほとんどとなっています。「結婚は人生の中の1つの大きな節目であり、社会人としての自覚が高まる」「結婚することによって、心のやすらぎや充実感が得られる」「結婚することによって、仕事や家事などの面で責任や負担が重くなる」についても、肯定的な回答が大半となっています。

「結婚することによって、それまで以上に社会的信用が高まる」「一定年齢に達すれば結婚するのが自然である」については、肯定的な回答と否定的な回答の割合が拮抗する結果となっています。

晩婚化・非婚化の傾向の理由については、「結婚しなくても不便を感じない」「独身生活の方が自由である」「家事・育児に対する女性の負担、拘束感が大きい」が高くなっており、ライフスタイルや価値観の変化についての回答が多くなっています。

(2) 子育てについて

出生率の低下の原因については、「経済的負担が大きいから」が87.3%で最も高くなっており、経済的負担が出生率低下の原因と考える人が多くなっています。その他では、「仕事と子育ての両立が困難だから」「精神的・肉体的負担が大きいから」「結婚しない人が増えたから」が多くなっています。

理想とする子どもの人数は、「2人」が最も高く、次いで「3人」となっていますが、理想とする子どもの数と実際の子どもの数の違いは、47.9%が「理想よりも実際の子どもの数の方が少ない」と回答しています。

どのようなことがあれば子どもが欲しいと思うかについては、「将来の教育費に対する補助」「妊娠・出産に伴う医療費の補助」が多くなっており、子育てにかかる経済的負担の軽減が求められています。

(3) 仕事や家庭生活について

生活の中の「仕事」と「家庭生活」などの優先度は、現実では「家庭」が49.2%、「仕事」が29.1%となっていますが、希望としては「家庭」が49.5%、「自分の時間」が38.4%、「仕事」が6.3%となっており、現実では仕事を優先せざるを得ない人が多くなっています。

子育てと仕事の両立を図りやすくするために、職場（企業）がすべき環境整備については、「子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる制度」など、休暇や働き方に関する回答が多くなっています。

(4) 保育料無償化について

保育料の無償化については、「知っている」が40.2%となっています。無償化の情報をどこで知ったかについては、「友人・知人から」「市ホームページ」が多くなっています。保育料の無償化が少子化対策に効果的であると思うかは、「とても効果的である」「効果的である」の合計が約7割となっており、肯定的な回答が大半を占めています。

(5) 地域の中での子育てについて

児童虐待の予防のために、どのようなことができるかについては、「市役所や児童相談所へ電話（通報）する」「自分のまわりの親子に意識を向ける」が高くなっています。

児童の望ましいと思う放課後の過ごし方については、「友達と自由に過ごす」「部活動に参加する」「児童クラブに行く」が多くなっています。

児童が健全に成長するために、地域に期待することについては、「登下校の安全確認や非行防止活動を行う」「学校の放課後活動を支援する」「気軽に情報交換や相談ができる場や子育てサークルなどを主催し、保護者の子育てを支援する」が高くなっています。

1. 未就学児童・就学児童調査結果(抜粋)

(1)子育ての状況について

未就 Q6 (全員)	就学 Q6	あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。	1つ 選択
------------------	----------	--	----------

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	父母ともに	433	56.3	335	56.5
2	主に母親	329	42.8	246	41.5
3	主に父親	4	0.5	8	1.3
4	主に祖父母	1	0.1	3	0.5
5	その他	2	0.3	1	0.2

0% 100% 0% 100%

未就 Q8 (全員)	就学 Q8	子育てに関して、日常悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。	あてはまるもの すべて選択
------------------	----------	--	------------------

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	特にない	225	29.3	173	29.2
2	病気や発育・発達に関すること	216	28.1	97	16.4
3	食事をなかなか食べてくれないこと	171	22.2	55	9.3
4	子育ての方法がよくわからないこと	52	6.8	24	4.0
5	子どもとの接し方に自信が持てないこと	117	15.2	66	11.1
6	子どもとの時間を十分にとれないこと	121	15.7	128	21.6
7	話し相手や相談相手がいないこと	26	3.4	28	4.7
8	子どもの親同士の付き合いに関すること	73	9.5	62	10.5
9	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	152	19.8	96	16.2
10	子どもの教育に関すること	154	20.0	202	34.1
11	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	77	10.0	116	19.6
12	不登校などの問題に関すること	14	1.8	31	5.2
13	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	53	6.9	54	9.1
14	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	49	6.4	48	8.1
15	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること	19	2.5	15	2.5
16	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	62	8.1	38	6.4
17	子どもを叱りすぎているような気がする	149	19.4	122	20.6
18	子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうなど、子どもにとって安心できるような家庭でないような気がする	13	1.7	13	2.2
19	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	31	4.0	18	3.0
20	その他	17	2.2	10	1.7

0% 50% 0% 50%

(2)保護者の就労状況について

未就 Q12	就学 Q12	あて名のお子さんの <u>母親</u> の就労状況(自営業、家族従事者含む)について お答えください。 ※父子家庭の場合は「父親のみ(父子家庭)」を選択してください。	1つ 選択
(全員)			

No.	項目	母親			
		未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	149	19.4	188	31.7
2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	137	17.8	11	1.9
3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	205	26.7	280	47.2
4	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	23	3.0	4	0.7
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	238	30.9	93	15.7
6	これまで就労したことがない	12	1.6	10	1.7
7	父親のみ(父子家庭)	5	0.7	6	1.0
8	不明・無回答	-	-	1	0.2

0% 50% 0% 50%

未就 Q14	就学 Q14	条件 Q12 で、「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)を選択した方	1つ 選択
(条件)		<u>母親</u> のフルタイムへの転換希望はありますか。	

No.	項目	母親			
		未就学児童 (n=228)		就学児童 (n=284)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	20	8.8	21	7.4
2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	58	25.4	74	26.1
3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	142	62.3	179	63.0
4	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	8	3.5	10	3.5

0% 100% 0% 100%

未就	就学	条件 Q12 で、「5.」「6.」(就労していない)を選択した方	1つ 選択
Q15	Q15	母親の就労希望はありますか。	
(条件)			

No.	項目	母親			
		未就学児童 (n=250)		就学児童 (n=103)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	働く予定はない(子育てや家事などに専念したい・働くことができないなど)	63	25.2	42	40.8
2	1年後より先に働きたい	116	46.4	23	22.3
3	すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい	71	28.4	38	36.9

0% 100% 0% 100%

【希望する就労形態】

No.	項目	母親			
		未就学児童 (n=71)		就学児童 (n=38)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	9	12.7	6	15.8
2	パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)	62	87.3	32	84.2

0% 100% 0% 100%

(3)幼稚園や保育園等の施設・サービスの利用状況について

未就 Q20	就学 -	あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園等の子どもを預かる施設やサービスを定期的に利用されていますか。	1つ 選択
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)	
		件数	割合(%)
1	利用している	449	58.4
2	利用していない	320	41.6

0% 100%

未就 Q21	就学 -	条件 Q20 で、「1. 利用している」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
(条件)		あて名のお子さんは、平日にどのような施設やサービスを利用していますか。	

No.	項目	未就学児童 (n=449)	
		件数	割合(%)
1	幼稚園	179	39.9
2	幼稚園の預かり保育	46	10.2
3	保育園	207	46.1
4	認定こども園	10	2.2
5	小規模保育施設	29	6.5
6	事業所内保育施設	5	1.1
7	認可外の保育施設	16	3.6
8	ファミリー・サポート・センター	1	0.2
9	その他	23	5.1

0% 50%

未就 Q22	就学 -	条件 Q20 で、「1. 利用している」を選択した方	数字を 入力
(条件)		平日に定期的に利用している幼稚園や保育園等について、最も多いパターンとしてどのくらい利用していますか。	

【1週あたりの利用日数】

No.	項目	未就学児童 (n=449)	
		件数	割合(%)
1	1日	6	1.3
2	2日	5	1.1
3	3日	12	2.7
4	4日	14	3.1
5	5日	401	89.3
6	6日	10	2.2
7	7日	1	0.2

0% 100%

【1日あたりの利用時間】

No.	項目	未就学児童 (n=449)	
		件数	割合(%)
1	～1時間	1	0.2
2	～2時間	-	-
3	～3時間	1	0.2
4	～4時間	14	3.1
5	～5時間	63	14.0
6	～6時間	92	20.5
7	～7時間	70	15.6
8	～8時間	98	21.8
9	～9時間	45	10.0
10	～10時間以上	65	14.5

0% 50%

未就	就学	条件	Q20 で、「1. 利用している」を選択した方	1つ 選択
Q23	-	(条件)	現在の1週当たりの利用日数や1日当たりの利用時間は希望どおりですか。	

No.	項目	未就学児童 (n=449)	
		件数	割合(%)
1	希望どおりである	415	92.4
2	希望どおりではない	34	7.6

0% 100%

【希望開始時間】

No.	項目	未就学児童 (n=34)	
		件数	割合(%)
1	7時台	1	2.9
2	8時台	19	55.9
3	9時台	12	35.3
4	10時以降	2	5.9
5	不明・無回答	-	-

0% 100%

【希望終了時間】

No.	項目	未就学児童 (n=34)	
		件数	割合(%)
1	12時台	1	2.9
2	13時台	-	-
3	14時台	2	5.9
4	15時台	6	17.6
5	16時台	11	32.4
6	17時台	5	14.7
7	18時台	8	23.5
8	19時台	1	2.9
9	20時以降	-	-

0% 50%

未就	就学	条件	Q28(未就学児童)・Q35(就学児童)で、「1. あった」を選択した方	あてはまるもの すべて選択 数字を 入力
Q29	Q36	(条件)	あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している【未就学児童】幼稚園や保育園等／【就学児童】小学校が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法とその日数をお答えください。※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。	

No.	項目	未就学児童 (n=309)		就学児童 (n=496)	
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	父親が休んだ	98	31.7	112	22.6
2	母親が休んだ	249	80.6	370	74.6
3	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	72	23.3	99	20.0
4	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	54	17.5	96	19.4
5	病児・病後児の保育を利用した	7	2.3	5	1.0
6	ベビーシッターを利用した	-	-	-	-
7	ファミリー・サポート・センターを利用した	-	-	-	-
8	預け先がなかったため子どもだけで留守番をさせた	-	-	28	5.6
9	その他	3	1.0	14	2.8
10	不明・無回答	1	0.3	-	-

0% 100% 0% 100%

(4)地域の子育て支援拠点事業等の利用状況について

未就 Q34	就学 -	あて名のお子さんは、現在、子育て世代包括支援センター、児童館の子育て支援室等の地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場)を利用していますか。 ※利用されているものをすべて選択し、おおよその利用回数(頻度)をお答えください。	あてはまるもの すべて選択 数字を 入力
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)	
		件数	割合(%)
1	地域子育て支援拠点事業(子育て世代包括支援センター・児童館)	385	50.1
2	その他小牧市で実施している類似の事業	29	3.8
3	利用していない	378	49.2
		0%	100%

未就 Q35	就学 -	地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。	1つ選択 数字を 入力
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)	
		件数	割合(%)
1	利用していないが、今後利用したい	182	23.7
2	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	188	24.4
3	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	399	51.9
		0%	100%

未就	就学	子育てに関する施設やサービスについてお答えください。	あてはまるもの すべて選択
Q36	-		
(全員)			

No.	項目	未就学児(n=769)					
		知っている 子育てに関する施設やサービス		利用したことがある 子育てに関する施設やサービス		今後利用したいと思う 子育てに関する施設やサービス	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	保健センターの教室・相談サービス	487	63.3	239	31.1	118	15.3
2	愛知県総合教育センター・教育相談	30	3.9	6	0.8	35	4.6
3	保育園や幼稚園の園庭開放等の子育て支援	432	56.2	221	28.7	168	21.8
4	児童館(こまきこども未来館含む)	714	92.8	630	81.9	527	68.5
5	子育て世代包括支援センター	524	68.1	299	38.9	187	24.3
6	一時預かり事業(子育て世代包括支援センター内)	443	57.6	121	15.7	182	23.7
7	利用者支援事業(相談事業)	54	7.0	10	1.3	23	3.0
8	すくすくパオーンルーム(子育て支援室)	535	69.6	372	48.4	194	25.2
9	産前産後ヘルパー事業	204	26.5	7	0.9	37	4.8
10	産後ケア事業	239	31.1	30	3.9	49	6.4
11	市が発行している子育て支援情報誌	80	10.4	23	3.0	46	6.0
12	子育て家庭優待事業(はぐみんカード)	523	68.0	341	44.3	267	34.7
13	子育て応援アプリ『すくすくこまキッズ』	284	36.9	131	17.0	107	13.9
14	家庭教育に関する学級・講座	36	4.7	13	1.7	53	6.9
15	育児支援家庭訪問事業	80	10.4	12	1.6	15	2.0
16	子育て支援短期支援事業	81	10.5	3	0.4	33	4.3
17	該当する施設やサービスはない	11	1.4	50	6.5	89	11.6
18	不明・無回答	1	0.1	1	0.1	1	0.1

0% 100% 0% 100% 0% 100%

(5)土曜日・日曜日・祝日の幼稚園や保育園等の利用意向について

未就	就学	あて名のお子さんについて、 <u>土曜日と日曜日・祝日</u> の、定期的な幼稚園や保育園等の利用希望をお答えください。(一時的な利用は除きます。)	1つ選択数字を入力
Q37	-		
(全員)			

No.	項目	未就学児 (n=769)			
		土曜日		日曜日・祝日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	利用する必要はない	579	75.3	627	81.5
2	ほぼ毎週利用したい	47	6.1	12	1.6
3	月に1~2回は利用したい	142	18.5	129	16.8
4	不明・無回答	1	0.1	1	0.1

未就	就学	条件	Q37(1)もしくは(2)で、「3.月に1~2回は利用したい」を選択した方	あてはまるものすべて選択
Q38	-	毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。		
(条件)				

No.	項目	未就学児童 (n=196)	
		件数	割合(%)
1	月に数回仕事が入るため	129	65.8
2	平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	64	32.7
3	親族の介護や手伝いが必要なため	3	1.5
4	リフレッシュのため	72	36.7
5	その他	11	5.6

(6)子どもの放課後や休日の過ごし方について

未就	就学	条件	あて名のお子さんが5歳以上の方	あてはまるものすべて選択
Q46	-	あて名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。		
(条件)				

No.	項目	未就学児童 (n=188)	
		件数	割合(%)
1	自宅	127	67.6
2	祖父母宅や友人・知人宅	22	11.7
3	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	90	47.9
4	児童館	38	20.2
5	放課後子ども教室	20	10.6
6	放課後児童クラブ	74	39.4
7	ファミリー・サポート・センター	2	1.1
8	その他(公民館、公園など)	41	21.8

未就	就学	条件	あて名のお子さんが5歳以上の方	あてはまるもの すべて選択
Q47	-	あて名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。		
(条件)				

No.	項目	未就学児童 (n=188)	
		件数	割合(%)
1	自宅	140	74.5
2	祖父母宅や友人・知人宅	29	15.4
3	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	112	59.6
4	児童館	53	28.2
5	放課後子ども教室	24	12.8
6	放課後児童クラブ	42	22.3
7	ファミリー・サポート・センター	2	1.1
8	その他(公民館、公園など)	55	29.3

0% 100%

未就	就学	お子さんについて、現在利用している場所も含めて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。希望する過ごし方についてお答えください。	あてはまるもの すべて選択
-	Q30、 31		
(全員)			

No.	項目	就学児童 (n=593)			
		平日		休日	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	自宅で学習や読書	355	59.9	302	50.9
2	自宅で自由に過ごす(テレビやゲームなど)	334	56.3	386	65.1
3	祖父母等の親族の家で過ごす	41	6.9	123	20.7
4	友達と自由に過ごす	359	60.5	390	65.8
5	学習塾で勉強する	116	19.6	50	8.4
6	ピアノや習字などの習い事(地域のスポーツクラブ含む)	247	41.7	191	32.2
7	学校で部活動をする	143	24.1	59	9.9
8	児童館に行っている	95	16.0	103	17.4
9	放課後子ども教室に行く	22	3.7	5	0.8
10	放課後児童クラブに行く	72	12.1	10	1.7
11	ファミリー・サポート・センターを利用する	3	0.5	3	0.5
12	図書館に行く	60	10.1	117	19.7
13	家族と外出する	76	12.8	409	69.0
14	地域のボランティア活動に参加する	21	3.5	44	7.4
15	放課後等デイサービスに行く	10	1.7	4	0.7
16	その他	4	0.7	6	1.0

0% 100% 0% 100%

(7)公立保育園と私立保育園について

未就 Q57	就学 Q40	現在市内には、保育園が21園、認定こども園が2園、小規模保育施設が17園あります(以下「保育園等」といいます。)。それぞれ保育園等の施設の特色やちがいを知っていますか(施設数は令和5年12月1日現在)。	1つ 選択
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	知っている	305	39.7	196	33.1
2	知らない	464	60.3	397	66.9

未就 Q58	就学 Q41	保育園等の施設のうち、民間事業者が運営する私立の施設は、保育園が7園、認定こども園が2園、小規模保育施設が16園あります。保育園等の施設を利用するうえで、公立の施設と私立の施設のちがいを感じることはありますか。	1つ 選択
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	感じる	96	12.5	81	13.7
2	感じない	36	4.7	27	4.6
3	わからない	422	54.9	339	57.2
4	保育施設を利用していない	215	28.0	146	24.6

未就 Q59	就学 -	私立の保育園等の施設では、多様な保育ニーズに対応できる保育園として、延長保育や一時保育、休日保育などが充実していることを知っていますか。	1つ 選択
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	知っている	302	39.3	263	44.4
2	知らない	467	60.7	330	55.6

(8)育児休業や保育園の無償化について

未就	就学	あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。	1つ 選択
Q51	-		
(全員)			

No.	項目	未就学児童			
		母親 (n=769)		父親 (n=769)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	働いていなかった	325	42.3	13	1.7
2	取得した(取得中である)	351	45.6	151	19.6
3	取得していない	88	11.4	580	75.4
4	父子家庭・母子家庭	5	0.7	25	3.3

0% 100% 0% 100%

未就	就学	条件 Q51(1)、(2)で「3. 取得していない」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
Q52	-	育児休業を取得していない理由としてあてはまるものをお答えください。	
(条件)			

No.	項目	未就学児童			
		母親 (n=88)		父親 (n=580)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	11	12.5	260	44.8
2	仕事が忙しかった	10	11.4	266	45.9
3	(産休後に)仕事に早く復帰したかった	2	2.3	2	0.3
4	仕事に戻るのが難しそうだった	11	12.5	24	4.1
5	昇給・昇格などが遅れそうだった	-	-	44	7.6
6	収入減となり、経済的に苦しくなる	5	5.7	213	36.7
7	保育園などに預けることができた	4	4.5	5	0.9
8	配偶者・パートナーが育児休業制度を利用した	1	1.1	94	16.2
9	配偶者・パートナーが無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	10	11.4	98	16.9
10	子育てや家事に専念するため退職した	38	43.2	2	0.3
11	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	17	19.3	54	9.3
12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	5	5.7	2	0.3
13	育児休業を取得できることを知らなかった	1	1.1	15	2.6
14	産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	-	-	-	-
15	その他	9	10.2	48	8.3

0% 100% 0% 100%

未就 Q60	就学 Q43	市独自の少子化対策の拡充として、市内保育園(21園)、認定こども園(2園)、小規模保育事業所(17園)の保育料を令和5年4月から無償とすることを知っていますか。	1つ 選択
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	知っている	624	81.1	277	46.7
2	知らない	145	18.9	316	53.3

0% 100% 0% 100%

未就 Q60	就学 Q43	条件 Q60(未就学児童)・Q43(就学児童)で、「1. 知っている」を選択した方	あてはまるもの すべて選択
(条件)		無償化の情報をどこで知りましたか。	

No.	項目	未就学児童 (n=624)		就学児童 (n=277)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	市ホームページ	245	39.3	88	31.8
2	市公式LINE	73	11.7	42	15.2
3	新聞、テレビ	110	17.6	78	28.2
4	友人・知人から	219	35.1	92	33.2
5	SNS	46	7.4	12	4.3
6	その他	56	9.0	40	14.4

0% 50% 0% 50%

未就 Q61	就学 Q44	保育料の無償化は少子化対策に効果的だと思いますか。	1つ 選択
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	とても効果的である	278	36.2	143	24.1
2	効果的である	234	30.4	197	33.2
3	あまり効果的でない	103	13.4	108	18.2
4	効果的でない	20	2.6	32	5.4
5	わからない	134	17.4	113	19.1

0% 50% 0% 100%

(9)子育て支援の施策について

未就	就学	子育て支援に関して、どのようなことを市の施策として期待しますか。	2つまで 選択
Q66	Q51		
(全員)			

No.	項目	未就学児童 (n=769)		就学児童 (n=593)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	妊娠・出産期の支援	244	31.7	86	14.5
2	子育てしやすいまちの環境面の充実	328	42.7	248	41.8
3	様々な遊びや体験の場の整備	267	34.7	224	37.8
4	子育てに関する交流や相談の場の整備	60	7.8	47	7.9
5	保護者の就労支援	131	17.0	78	13.2
6	家庭への経済的な支援	359	46.7	265	44.7
7	特別な事情のある児童の育成支援	38	4.9	56	9.4
8	その他	13	1.7	25	4.2

○妊娠・出産期の支援

No.	項目	未就学児童 (n=244)		就学児童 (n=86)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	妊娠・出産にかかる経済的な支援	191	78.3	61	70.9
2	母親・乳児の健康に対する支援	47	19.3	9	10.5
3	妊娠中・出産後に利用できるサービスについての情報提供	6	2.5	14	16.3
4	その他	-	-	2	2.3

○子育てしやすいまちの環境面の充実

No.	項目	未就学児童 (n=328)		就学児童 (n=248)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	子育てしやすい住居の充実	63	19.2	53	21.4
2	公共交通機関の充実	46	14.0	86	34.7
3	保育施設・サービスの充実	203	61.9	103	41.5
4	その他	16	4.9	6	2.4

○様々な遊びや体験の場の整備

No.	項目	未就学児童 (n=267)		就学児童 (n=224)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	放課後子ども教室の開催日の拡大	50	18.7	30	13.4
2	公園などの遊び場の整備	144	53.9	121	54.0
3	児童を対象とした地域の体験活動の支援	70	26.2	73	32.6
4	その他	3	1.1	-	-

○子育てに関する交流や相談の場の整備

No.	項目	未就学児童 (n=60)		就学児童 (n=47)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	子育てについて気軽に相談できる場所の充実	30	50.0	29	61.7
2	親同士の交流や地域の子育て活動への支援	29	48.3	17	36.2
3	その他	1	1.7	1	2.1

○保護者の就労支援

No.	項目	未就学児童 (n=131)		就学児童 (n=78)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	放課後児童クラブの時間延長	26	19.8	7	9.0
2	民間の学童保育所の整備	30	22.9	8	10.3
3	突発・短期的な理由による一時的な預かり場所の確保	68	51.9	51	65.4
4	その他	7	5.3	12	15.4

○家庭への経済的な支援

No.	項目	未就学児童 (n=359)		就学児童 (n=265)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	児童手当やひとり親手当などの経済的な支援の充実	140	39.0	62	23.4
2	高等学校の入学もしくは進学後に必要な費用の支援(制服代、学費など)	104	29.0	110	41.5
3	大学・専門学校等の入学もしくは進学後に必要な費用の支援(入学金、学費など)	95	26.5	77	29.1
4	経済的に恵まれない児童の学習環境の確保(無料の学習塾など)	3	0.8	4	1.5
5	経済的に恵まれない児童の居場所の確保(子ども食堂など)	8	2.2	4	1.5
6	その他	9	2.5	8	3.0

○特別な事情のある児童の育成支援

No.	項目	未就学児童 (n=38)		就学児童 (n=56)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	家庭で育てられない児童を受け入れる施設や里親制度などの施策の充実	4	10.5	12	21.4
2	障がいのある児童の療育を行う施設・施策の充実	32	84.2	39	69.6
3	その他	2	5.3	5	8.9

2. 一般成人調査結果(抜粋)

(1)結婚観について

Q8 (全員) あなたは、結婚についてどのようにお考えですか。 それぞれ1つ選択

No.	項目	一般成人(n=378)					
		(1) 一定年齢に達すれば 結婚するのが自然である		(2) 結婚することによって、それまで 以上に社会的信用が高まる		(3) 結婚をするかしないかは、 個人の自由である	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	とても思う	34	9.0	25	6.6	322	85.2
2	やや思う	116	30.7	128	33.9	51	13.5
3	わからない	73	19.3	76	20.1	2	0.5
4	やや思わない	76	20.1	71	18.8	1	0.3
5	まったく思わない	79	20.9	78	20.6	2	0.5

0% 100% 0% 100% 0% 100%

No.	項目	一般成人(n=378)					
		(4) 結婚は人生の中の 大きな節目であり、 社会人としての自覚が高まる		(5) 結婚することによって、 心のやすらぎや充実感が得られる		(6) 結婚することによって、 仕事や家事などの面で 責任や負担が重くなる	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	とても思う	71	18.8	95	25.1	175	46.3
2	やや思う	148	39.2	138	36.5	145	38.4
3	わからない	57	15.1	92	24.3	29	7.7
4	やや思わない	52	13.8	32	8.5	17	4.5
5	まったく思わない	50	13.2	21	5.6	12	3.2

0% 100% 0% 100% 0% 100%

No.	項目	一般成人(n=378)	
		(7) 結婚することによって、 束縛され自由がなくなる	
		件数	割合(%)
1	とても思う	94	24.9
2	やや思う	153	40.5
3	わからない	52	13.8
4	やや思わない	55	14.6
5	まったく思わない	24	6.3

0% 100%

Q9
(全員)

最近は晩婚化・非婚化の傾向にあると言われていますが、
その理由は何だと思いませんか。

あてはまるもの
すべて選択

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	仕事を持つ女性が増えて、女性自らの経済力が向上した	188	49.7
2	独身生活の方が自由である	219	57.9
3	家事・育児に対する女性の負担、拘束感が大きい	198	52.4
4	社会慣行としての見合いが減少した	55	14.6
5	結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなった	158	41.8
6	結婚しなくても不便を感じない	220	58.2
7	仕事と結婚の両立ができない	99	26.2
8	女性の高学歴化が進んだ	42	11.1
9	結婚したくても交際相手がみつからない	135	35.7
10	わからない	5	1.3
11	その他	19	5.0

0%

100%

(2)子育てについて

Q14 (全員)	近年、合計特殊出生率(ひとりの女性が一生の間に生む子どもの人数の平均値。令和4年の全国平均は1.26)の低下が目目され、国や県、市町村において様々な施策が行われていますが、依然として出生率は低下しています。あなたは、この原因をどのようにお考えですか。	3つまで 選択
-------------	---	------------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	経済的負担が大きいから	330	87.3
2	精神的・肉体的負担が大きいから	178	47.1
3	仕事と子育ての両立が困難だから	222	58.7
4	夫婦の生活を重視したいから	10	2.6
5	住宅が狭いなど、住居環境がよくないから	11	2.9
6	公園、遊び場が少ないなど、生活環境がよくないから	29	7.7
7	結婚しない人が増えたから	163	43.1
8	わからない	6	1.6
9	その他	12	3.2

0% 100%

Q15 (全員)	あなたが理想とする子どもの人数は何人ですか。	1つ 選択
-------------	------------------------	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	0人	4	1.1
2	1人	20	5.3
3	2人	198	52.4
4	3人	82	21.7
5	4人	7	1.9
6	5人以上	7	1.9
7	特に理想はない	60	15.9

0% 100%

Q16 (条件)	条件 現在お子さんがいる方(Q5で「1.」~「5.」を選択した方)	1つ 選択
	理想とする子どもの数と、実際の子どもの数に違いはありましたか。	

No.	項目	一般成人 (n=163)	
		件数	割合(%)
1	理想よりも実際の子どもの数が多い	8	4.9
2	理想と同じ子どもの数である	57	35.0
3	理想よりも実際の子どもの数の数が少ない	78	47.9
4	理想とする子どもの数が特にな	20	12.3

0% 50%

Q16 (条件)	条件	Q16 で「3. 理想よりも実際の子どもの数の方が少ない」を選択した方 その理由は何ですか。	あてはまるもの すべて選択
-------------	----	---	------------------

No.	項目	一般成人 (n=78)	
		件数	割合(%)
1	子育ての身体的・精神的な負担が大きいから	43	55.1
2	子育てのための経済的な負担が大きいから	54	69.2
3	仕事と子育ての両立が困難だから	28	35.9
4	保育所などの子育てを支援してくれるサービスが十分でないから	11	14.1
5	自分自身の生活を楽しまたいから	9	11.5
6	自分または配偶者・パートナーの健康上の理由から	8	10.3
7	住宅が狭いなど、住居環境がよくないから	4	5.1
8	子どもをとりまく環境に不安があるから	10	12.8
9	子育てに自信がないから	10	12.8
10	その他	11	14.1

0% 100%

Q18 (全員)	次に挙げることがらのうち、どのようなことがあれば、 あなたは(もっと)子どもが欲しいと思うと思いますか。	3つまで 選択
-------------	---	------------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	特にない	39	10.3
2	妊娠・出産に伴う医療費の補助	152	40.2
3	妊娠・出産に関する医療サービスの向上	39	10.3
4	産婦人科の充実	19	5.0
5	不妊治療に関する医療機関の充実や補助金の整備	32	8.5
6	幼稚園・保育園などの充実	71	18.8
7	幼稚園・保育園などの費用の補助	97	25.7
8	地域や自治体の育児支援サービスの充実	36	9.5
9	ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助や税金の控除	39	10.3
10	将来の教育費に対する補助	197	52.1
11	住居費用の補助	62	16.4
12	配偶者・パートナーの家事・子育てへの協力	59	15.6
13	自分または配偶者・パートナーの親の家事・子育てへの協力	11	2.9
14	勤務先の産休・育児休業制度	46	12.2
15	勤務先の育児短縮勤務制度	31	8.2
16	職場の理解	57	15.1
17	その他	10	2.6

0% 100%

(4)保育料無償化について

Q22 (全員)	市独自の少子化対策の拡充として、市内保育園(21園)、認定こども園(2園)、小規模保育事業所(17園)の保育料を令和5年4月から無償としていることを知っていますか。	1つ 選択
-------------	--	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	知っている	152	40.2
2	知らない	226	59.8

0% 100%

Q22 (条件)	条件 Q22で「1.知っている」を選択した方 無償化の情報をどこで知りましたか。	あてはまるもの すべて選択
-------------	--	------------------

No.	項目	一般成人 (n=152)	
		件数	割合(%)
1	市ホームページ	50	32.9
2	市公式LINE	15	9.9
3	新聞、テレビ	20	13.2
4	友人・知人から	68	44.7
5	SNS	8	5.3
6	その他	17	11.2

0% 50%

Q23 (全員)	保育料の無償化は少子化対策に効果的だと思いますか。	1つ 選択
-------------	---------------------------	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	とても効果的である	133	35.2
2	効果的である	128	33.9
3	あまり効果的でない	54	14.3
4	効果的でない	19	5.0
5	わからない	44	11.6

0% 50%

(5)地域の中での子育てについて

Q26 (全員)	放課後の児童について、放課後児童クラブなどが終わったあとは、いつも何時に帰宅するべきだと思いますか。	1つ 選択
-------------	--	----------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	わからない	77	20.4
2	午後4時よりも前	11	2.9
3	午後4時から午後5時よりも前	89	23.5
4	午後5時から午後6時よりも前	140	37.0
5	午後6時から午後7時よりも前	52	13.8
6	午後7時から午後8時よりも前	7	1.9
7	午後8時よりも後	2	0.5

0% 50%

Q27 (全員)	放課後の児童について、児童が放課後を父母や親族と一緒に生活できず、1日の学校生活を終えてもすぐに家族と接することができない児童が増えています。 このような児童の成長の過程として、あなたが望ましいと思う放課後の過ごし方をお答えください。	3つまで 選択
-------------	--	------------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	わからない	47	12.4
2	自宅で学習や読書をする	63	16.7
3	自宅で自由に過ごす(テレビやゲームなど)	72	19.0
4	祖父母等の親族の家で過ごす	83	22.0
5	友達と自由に過ごす	152	40.2
6	学習塾に行く	16	4.2
7	ピアノや習字などの習い事(地域のスポーツクラブ含む)	66	17.5
8	部活動に参加する	125	33.1
9	児童館に行く	87	23.0
10	放課後子ども教室に行く	55	14.6
11	児童クラブに行く	103	27.2
12	地域のボランティア活動に参加する	23	6.1
13	その他	6	1.6

0% 50%

Q28 (全員)	児童虐待などの子育てについての問題についてうかがいます。 虐待予防のために、あなた自身はどのようなことができると思いますか。	あてはまるもの すべて選択
-------------	---	------------------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	公園や児童館などで孤立している(しそうな)親子に声をかける	65	17.2
2	自分のまわりの親子に意識を向ける	158	41.8
3	自分のまわりの親子に声をかける	56	14.8
4	自分のまわりの子どもをほめる・叱る	40	10.6
5	市役所や児童相談所へ電話(通報)する	170	45.0
6	何もできることはない	29	7.7
7	わからない	60	15.9
8	その他	5	1.3

0% 50%

Q31 (全員)	児童が健全に成長するために、地域に期待することは何ですか。	あてはまるもの すべて選択
-------------	-------------------------------	------------------

No.	項目	一般成人 (n=378)	
		件数	割合(%)
1	特にない	55	14.6
2	児童が参加できる活動を行う(映画会、読み聞かせ等)	96	25.4
3	積極的に児童の育成(しつけ)に関わる【しかる・ほめる】	67	17.7
4	学校の放課後活動(部活動)を支援する	135	35.7
5	子どもの活動に親(保護者)たちの積極的な参加を促す	24	6.3
6	気軽に情報交換や相談ができる場や子育てサークルなどを主催し、保護者の子育てを支援する	107	28.3
7	地域の会館などを利用して、宿題や勉強の支援を行う	100	26.5
8	連携を取り合い、地域で子どもたちの自主的な活動を育成・支援する	80	21.2
9	登下校の安全確認や非行防止活動を行う	181	47.9
10	児童が地域活動に参加できる場をつくる(清掃ボランティア等)	54	14.3
11	その他	10	2.6

0% 50%